

平成 28 年度 かんだ連雀 事業報告

I 概要

1) 利用者動向

特養の平均介護度は 3.77（前年度 3.8）。ほぼ前年同様。医療対応は人工肛門が 1 名、導尿 1 名。通所介護は稼働率が 65.2%（前年度 75.0%）と 10 ポイント低下した。

2) 職員・育成

今年度も人材の確保は困難を極め、特養では派遣介護員を利用した結果、収支のさらなる悪化を招いた。看護についても同様の状況が続いている。また特養を中心に腰痛を患う職員が目立った。そのため次年度に向けて配置換えや雇用形態の変更を行う必要がある。通所介護、包括の職員体制は概ね安定、訪問介護・定期巡回は利用者減となったが人員体制は逆に安定した。居宅は 2 月より 3 名から 4 名体制へ増員した。

3) 平成 28 年度事業計画についての報告

神田エリアにおける事業再編について千代田区と協議を重ね、7 月より併設短期入所を廃止し、特養を 4 名定員増とした。また訪問介護・定期巡回の事業所を 2 階へ移し、在宅サービスセンター機能を 2 階にまとめ支援活動の充実を図った。また、建物の経年や地震による劣化が顕在化し、漏水対応工事を次年度初めに計画している。

4) 平成 28 年度重点の動き

稼働率は各事業が低迷し、収支改善を実現することができず、次年度の大きな課題としてとらえている。

II 事業別動向

区分	成 果	課 題
特養	快食に力を入れ各部署、医師と連携し対応した。業務内容見直し開始し始めた。	業務見直し。プラン作成。看取り加算取得。
短期入所	6 月末で短期入所閉鎖後、特養空床を利用し緊急対応を行った。	緊急での利用の為、情報共有、連携。
デイサービス	小規模を生かした料理教室や外出活動等のアクティブ活動の充実を図り、利用者から大好評だった。	危険予知及び見守りのあり方の理解、周知。
ホームヘルプサービス	職員の資質の向上と PDCA の実施をもとに、安定したサービス提供を行うことができた。	新規利用者の獲得
定期巡回・随時対応	勉強会をもとに、サービスの理解や方向性、考え方を共有し、利用者の生活を構築しながら援助した。	サービスの普及・啓発・告知活動
地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援総合事業対象者のケアマネジメント及び社会資源の活用、認知症事業に力を入れた。	高齢者総合サポートセンターとの連携。
居宅介護支援センター	初心に戻り、ケアマネジメントについて見直すことが出来、支援の質の向上を図った。	アセスメント力向上とファイリングの統一
事務	運営会議を利用し、事業責任者へ人件費を維持するための収入の考え方などを伝えた。	業務分担・拠点の収支改善
管理	特養を 55 名から 59 名へ定員変更し訪問介護・定期巡回事業を 2 階へ移し在宅サービス部門の連携が図れた。	大規模改修の計画を推進する

III リスクマネジメント

1) 苦情・第三者評価

第三者評価は 6 事業を実施した。苦情は 5 件あり速やかに対応できたが、1 件のみ水分不足が脳梗塞につながったとの苦情にて保険からの賠償金支払いとなった。

2) 感染症等予防・蔓延防止の取組

感染防止の意識付けを図ったが、インフルエンザが 12 月～2 月に利用者職員合わせ 7 名発症した。

3) 緊急対応

救急搬送は 9 名。嘱託医との連携により病院への搬送を迅速に実施した。

4) 防災

毎月の防災訓練は、テーマや課題を決め緊張感のある訓練内容で行った。

5) 勤務管理

朝礼・夕礼における体制管理および超過勤務状況の把握ができた。

IV 事業別年間の実績概要

1) 入所部門

(単位：名)

	定員	利用者（実施数）				入院者数		新規利用		利用終了		平均		待機者
		延べ人数	月平均	稼働日数	利用実績 (%)	実人数	月平均	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢 (歳)	
特養	59	20198	1683	365	95.4	13	1.1	16	1.3	10	0.8	3.8	88.6	167
空床短期含む	(2)	20221	1685	365	95.5	—	—	20	1.6	13	1.1	3.3	86.1	—
短期入所	5	411	34.3	91	90	—	—	6	2	18	6	3.1	86.8	—

※待機者は、申込書を提出したことがある者を言う。※短期入所は6月末で廃止。

2) センター部門

(単位：名)

	利用者（実施数）				新規利用		利用終了		平均	
	延べ人数	月平均	年間実人数	月平均実人数	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢 (歳)
通所	2918	243.1	62	5.1	17	1.4	14	1.2	2.5	87.3
予防通所	114	9.5	4	0.3	3	0.3	1	0.1	支援2	87.2
通所合計	3032	252.6	66	5.4	20	1.7	15	1.3	2.4	87.2
在宅支援サービス	715	59.5	8	0.6	0	0	3	0.3	3.3	84.1
訪問介護	3332	277.6	34	2.8	10	0.8	6	0.5	3.6	87.6
予防訪問介護	345	28.7	9	0.7	3	0.3	1	0.1	支援2	82
訪問介護合計	3677	306.4	43	3.5	13	1.1	7	0.6	2.3	84.8
定期巡回	4184	348.6	8	0.6	3	0.3	3	0.3	2.6	86.5

3) 支援センター部門

(単位：名)

	利用者（実施数）				新規利用		利用終了		平均	
	延べ人数	月平均	年間実人数	月平均実人数	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢 (歳)
地域包括支援センター（総合相談）	14255	1187	910	75.8	102	8.5	—	—	—	—
介護予防推進事業	神田で元気がない き教室	121	19.5	108	9	—	—	—	—	—
	家族介護サロン	10	0.8	10	0.8	—	—	—	—	—
予防居宅	1760	146.6	216	147	73	6.1	48	4	1.4	84.1
居宅介護支援	946	78.8	935	77.9	51	4.2	25	2.1	2.5	86.2

4) 苦情・事故報告

	延べ件数	月平均件数	解決件数	未解決件数	対応中件数
利用者からの苦情	4	0.3	3	0	1
事業所からの苦情	0	0	0	0	0
職員からの苦情	0	0	0	0	0
その他苦情	1	0.1	1	0	0
施設内事故	22	1.8	22	0	0
施設外事故	0	0	0	0	0